

平成 30 年 11 月 8 日（木）

平成 30 年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

会 議 録

岸和田市貝塚市清掃施設組合

平成30年第3回岸和田市貝塚市 清掃施設組合議会定例会議事日程

平成30年11月8日（木）
午後1時30分 開 議

- | | | |
|-----|-------|--------------------------------------|
| 第 1 | | 会期決定について |
| 第 2 | 認定第1号 | 平成29年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求め
るについて |
| 第 3 | 議案第6号 | 平成30年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予
算（第2号） |

出席議員（14名）

1番	牛	尾	治	朗	2番	川	岸	貞	利
3番	阪	口	勇		4番	田	中	学	
5番	谷	口	美保	子	6番	真	利	一	朗
7番	井	舍	英	生	8番	井	上	源	次
9番	金	子	拓	矢	10番	河	合	馨	
11番	鳥	居	宏	次	12番	中	井	良	介
13番	前	田	将	臣	14番	米	田	貴	志

欠席議員（なし）

出席議事説明員

管理者	藤	原	龍	男	副管理者	永	野	耕	平
理事	田	中	利	雄	理事	土	佐	邦	之
会計管理者	野	村	圭	一					
事務局長	小	南	和	巳	事務局次長	西	秦	幹	雄
総務課長	上	村	昌	生	環境技術課長	猪	口	昌	宏
基幹整備担当参事	太	田	健	一					
幹事	藤	原	康	成	幹事	坂	井	永	二
幹事	井	谷	真		幹事	春	木	秀	一
幹事	茶	谷	幸	典	幹事	西	田	淳	一
幹事	亀	井	謙	作	幹事	谷	藤	健	

午後 1 時59分開会

○米田貴志議長

ただいまから、平成30年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を事務局から報告させます。

○事務局

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は14名でございます。

以上で報告を終わります。

○米田貴志議長

ただいまの報告のとおり、出席議員14名をもちまして、会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

次に、本日の会議録署名者を、施設組合議会会議規則第101条の規定により、私から、5番谷口美保子議員、6番真利一朗議員を指名いたします。

次に、本定例会における議事説明員は、お手元にご配付いたしておりますとおりでございますので、ご報告を申し上げます。

これより日程に入ります。

日程第1、会期決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の1日といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○米田貴志議長

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は1日に決定いたしました。

次に、平成30年7月分と8月分の2カ月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりでございます。

本件について質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○米田貴志議長

ないようですので、本報告を終わります。

次に、日程第2、認定第1号平成29年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて

を議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。藤原龍男管理者。

○藤原龍男管理者

ただいま上程されました認定第1号平成29年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるにつきまして、提案理由をご説明申し上げます。

平成29年度一般会計の決算につきましては、地方自治法第233条第2項の規定により、監査委員の方々にその内容につきましてご審査をお願いいたしましたところ、慎重なご審査を賜り、このたび、審査意見を付けて議会の認定に付した次第であります。

平成29年度一般会計の歳入決算額38億4,439万86円に対しまして、歳出決算額が38億1,074万2,029円でありましたので、歳入歳出差引額が3,364万8,057円であります。

決算内容につきまして、まず歳入からご説明申し上げます。決算額は38億4,439万86円となり、予算現額に対しまして4億1,043万6,914円の減収となっております。減収となりました主なものは、分担金の5億2,500万円であります。対しまして、増収となりました主なものは、繰越金の3,069万9,940円、諸収入の1億4,237万4,546円であります。

次に、歳出であります。決算額は38億1,074万2,029円となり、予算現額に対しまして4億4,408万4,971円の不用額が生じております。不用額が生じた主なものは、総務費の4億3,723万3,113円でありまして、主に工事請負費の差金によるものとなっております。

以上、一般会計の決算の概要をご説明申し上げましたが、決算書のほか、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書を提出いたしておりますので、何とぞよろしくご審議の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

なお、決算の詳細につきましては事務局長から説明させますので、よろしく願いいたします。

○米田貴志議長

次に、補足説明を求めます。小南事務局長。

○小南和巳事務局長

それでは、認定第1号平成29年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計決算認定を求めるについての補足説明をさせていただきます。

まず決算書9ページをお願いいたします。実質収支に関する調書からご説明申し上げます。

歳入総額38億4,439万円に対しまして、歳出総額38億1,074万2千円で、歳入歳出差引額が3,364万8千円となり、実質収支額は3,364万8千円でございます。

それでは、次に、歳入の明細について、収入済額の欄を中心にご説明申し上げます。

12、13ページをお願いいたします。

第1款分担金の収入済額は29億3,000万円でございます。前年度に比べ2億3,100万、7.3%の減少でございます。両市の負担割合は、2割を均等割、8割を人口割で算出しております。岸和田市が64.984%、貝塚市が35.016%となっております。この結果、13ページ備考欄上から4行目に記載のとおり、岸和田市が19億403万1,200円、貝塚市が10億2,596万8,800円でございます。

次に、第2款使用料及び手数料の収入済額は2億6,133万3,600円でございます。前年度に比べ895万3,120円、3.5%増加でございます。第1項使用料でございますが、主なものは、備考欄上から9行目、附属洗車場使用料131万1,520円でございます。

次に、第2項手数料でございますが、その内訳は、廃棄物処分手数料2億5,959万2,380円でございます。

次に、第3款繰越金は3,069万9,940円でございます。

次に、14、15ページをお願いいたします。

第4款諸収入の収入済額は4億2,715万546円で、前年度に比べ2,116万2,360円、4.7%の減少でございます。その主な内訳は、15ページ備考欄上から4行目、金属類等売払収入5,871万2,097円、電力売払収入3億5,484万6,151円でございます。

次に、第5款組合債の収入済額は1億9,460万円で、前年度に比べ6,080万円、23.8%の減少でございます。その主なものは、備考欄下から7行目、ごみ処理施設増設事業債1億8,740万円でございます。

次に、第6款財産収入の収入済額は60万6千円で、組合でこれまで使用していたバキューム車、1トントラック、天然ガス性の軽貨物車の売り払いによる収入でございます。

以上、合わせまして、最下段の歳入合計が38億4,439万86円で、前年度に比べ3億3,126万3,071円の減少でございます。

続きまして、歳出の明細についてご説明申し上げます。

16、17ページをお願いいたします。

第1款議会費は、予算現額408万9千円に対しまして、支出済額267万4,223円で、不用額は141万4,777円でございます。

次に、第2款総務費は、予算現額21億9,296万4千円に対しまして、支出済額は17億5,573万887円で、不用額は4億3,723万3,113円でございます。

第1項総務費につきましては、予算現額2億1,565万1千円に対しまして、支出済額1億9,226万3,386円で、不用額は2,338万7,614円でございます。

第1目一般管理費の支出済額は1億8,841万4,751円でございます。その内訳は、事業別区分欄の職員給与費1億7,516万5,634円及び18ページの事業別区分欄の清掃組合管理事務事業1,324万9,117円でございます。

第2目総務管理費の支出済額は360万1,515円で、その内訳は、18ページ事業別区分欄、リサイクル啓発事務事業で、岸和田・貝塚3Rふれあいフェアや地方公会計システムの導入等に要するものでございます。

それでは、20、21ページをお願いします。

第3目公平委員会費の支出済額は6万3千円で、公平委員報酬でございます。

第4目監査委員費の支出済額は18万4,120円で、

委員報酬及び事務費でございます。

次に、第2項施設費第1目施設管理費につきましては、予算現額19億7,731万3千円に対しまして、支出済額は15億6,346万7,501円で、不用額は4億1,384万5,499円でございます。

その内訳を事業別にご説明いたします。

まず、施設管理運営事業ですが、支出済額9億2,806万3,041円でございます。これはクリーンセンターの運転管理に要する支出でございます。主な内訳は、クリーンセンターの排ガス・排水処理に必要な薬品類、設備機器の経年劣化に伴い交換する消耗品の購入費やクリーンセンターの電気・上下水道料金などの需用費1億6,982万1,713円と、クリーンセンターの運転管理や焼却灰の運搬・処分などの委託料7億5,275万5,308円でございます。

それでは、22、23ページをお願いします。

大阪湾圏域広域処理場整備事業ですが、支出済額309万9千円となっております。これは、いわゆるフェニックス事業に係る施設維持業務委託料でございます。

次に、クリーンセンター維持補修事業ですが、支出済額6億2,619万9,610円でございます。これは施設維持に要する支出で、主なものは、定期点検整備工事、排水処理設備の定期点検整備工事などに係る工事請負費が4億2,767万8,080円、これらの工事に伴う原材料費1億5,363万6千円でございます。

次に、ごみ収集車等購入事業ですが、支出済額610万5,850円でございます。これは施設で利用しておりますバキューム車の購入に係るものでございます。

次に、第3款公債費は、支出済額20億5,233万6,919円です。クリーンセンター建設に伴う土地、建物、設備機器に要した費用、及びフェニックス計画による事業の起債の元金償還及び利子でございます。その内訳は、長期債元金償還事業に19億5,955万6,197円、長期債利子償還事業に9,278万722円でございます。

第4款予備費でございますが、当初予算額300

万円に対しまして、予備費の充当額はございません。

以上、歳出合計が、予算現額42億5,482万7千円に対しまして、支出済額38億1,074万2,029円、不用額は4億4,408万4,971円でございます。

不用額は主にクリーンセンターの管理運転に係る需要費8,346万2,059円と、委託料7,928万6,692円、維持補修に係る工事請負費2億1,412万9,920円でございます。

続きまして、財産に関する調書をご説明いたします。

26、27ページをお願いいたします。

公有財産、土地及び建物でございますが、土地は14万2,337.09平方メートル、建物は5万3,863.98平方メートルと、前年度と変更ございません。

次に、28ページをお願いいたします。

重要物品調書でございますが、取得価格が50万円以上の物品を掲載しておりますが、事務用機械器具類が2台増で、機械類が6台増の計8台増で、総数といたしましては1,676台となっております。

説明は以上でございます。何とぞよろしく願いいたします。

○米田貴志議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○米田貴志議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○米田貴志議長

討論なしと認めます。

これより認定第1号を採決いたします。

本決算はこれを認定することに決しましてご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○米田貴志議長

ご異議なしと認めます。よって、平成29年度決算は認定されました。

次に、日程第3、議案第6号平成30年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。藤原龍男管理者。

○藤原龍男管理者

ただいま上程の議案第6号平成30年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

歳出につきまして、第2款総務費第1項総務費第1目一般管理費、第3節職員手当等における110万8千円の追加補正は、このたびの台風21号に伴う災害廃棄物の受け入れ対応により職員の超過勤務手当に不足が生じてきましたので、追加するものであります。

歳入につきましては、分担金を追加し、歳入歳出それぞれ110万8千円を追加補正するものであります。

以上のとおりでありますので、何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

○米田貴志議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○米田貴志議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○米田貴志議長

討論なしと認めます。

これより議案第6号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しましてご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○米田貴志議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件につきまして慎重にご審議賜り、厚く御礼を申し上げます。

これをもちまして、平成30年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

午後2時20分閉会

上記会議録の正確なるを証するためここに署名する。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議 長 米 田 貴 志	
同 議 員 谷 口 美 保 子	
同 議 員 真 利 一 朗	

平成30年第3回組合議会定例会議案

議案番号	件名	備考
認定第1号	平成29年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて	別冊
議案第6号	平成30年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算(第2号)	別冊

岸和田市貝塚市清掃施設組合

認定第 1 号

平成 29 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて

平成 29 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計の決算は、別紙のとおり監査委員の審査を経たので、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により議会の認定を求める。

平成 30 年 11 月 8 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者 藤原 龍男

平成29年度

岸和田市貝塚市清掃施設組合決算書

目 次

一般会計歳入歳出決算書	-----	1
実質収支に関する調書	-----	7
歳入歳出決算事項別明細書	-----	11
財産に関する調書	-----	25

一般会計歳入歳出決算書

歳入

款	項	予算現額	調定額
01 分担金		3,455,000,000	2,930,000,000
	01 分担金	3,455,000,000	2,930,000,000
02 使用料及び手数料		256,350,000	261,333,600
	01 使用料	1,747,000	1,741,220
	02 手数料	254,603,000	259,592,380
03 繰越金		1,000	30,699,940
	01 繰越金	1,000	30,699,940
04 諸収入		284,776,000	427,150,546
	01 雑入	284,776,000	427,150,546
05 組合債		258,500,000	194,600,000
	01 組合債	258,500,000	194,600,000
06 財産収入		200,000	606,000
	01 財産売却収入	200,000	606,000
歳入合計		4,254,827,000	3,844,390,086

(単位:円)

収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
2,930,000,000		0	△ 525,000,000
2,930,000,000		0	△ 525,000,000
261,333,600		0	4,983,600
1,741,220		0	△ 5,780
259,592,380		0	4,989,380
30,699,940		0	30,698,940
30,699,940		0	30,698,940
427,150,546		0	142,374,546
427,150,546		0	142,374,546
194,600,000		0	△ 63,900,000
194,600,000		0	△ 63,900,000
606,000		0	406,000
606,000		0	406,000
3,844,390,086		0	△ 410,436,914

歳 出

款	項	予 算 現 額
01 議会費		4,089,000
	01 議会費	4,089,000
02 総務費		2,192,964,000
	01 総務費	215,651,000
	02 施設費	1,977,313,000
03 公債費		2,054,774,000
	01 公債費	2,054,774,000
04 予備費		3,000,000
	01 予備費	3,000,000
歳 出 合 計		4,254,827,000

(単位:円)

支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
2,674,223		1,414,777	1,414,777
2,674,223		1,414,777	1,414,777
1,755,730,887		437,233,113	437,233,113
192,263,386		23,387,614	23,387,614
1,563,467,501		413,845,499	413,845,499
2,052,336,919		2,437,081	2,437,081
2,052,336,919		2,437,081	2,437,081
0		3,000,000	3,000,000
0		3,000,000	3,000,000
3,810,742,029	0	444,084,971	444,084,971

歳入歳出差引残額

33,648,057円

平成30年11月8日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者 藤原 龍男

実 質 収 支 に 関 す る 調 書

(単位:千円)

区 分		金 額
1.	歳 入 総 額	3,844,390
2.	歳 出 総 額	3,810,742
3.	歳 入 歳 出 差 引 額	33,648
4.	(1) 継続費通次繰越額	
	(2) 繰越明許費繰越額	
	(3) 事故繰越し繰越額	
	計	
	翌年度へ繰り越すべき財源	
5.	実 質 収 支 額	33,648
6.	実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規程による基金繰入額	

歲入歲出決算事項別明細書

歳入

款項目	予 算			計	現
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越 財源充当額		節
					区 分
01 分担金	3,455,000,000			3,455,000,000	
01 分担金	3,455,000,000			3,455,000,000	
01組合市分担金	3,455,000,000			3,455,000,000	01 組合市分担金
02 使用料及び手数料	256,350,000			256,350,000	
01 使用料	1,747,000			1,747,000	
01 総務使用料	1,747,000			1,747,000	01 土地使用料
					02 施設使用料
02 手数料	254,603,000			254,603,000	
01 焼却手数料	254,603,000			254,603,000	01 廃棄物手数料
03 繰越金	1,000			1,000	
01 繰越金	1,000			1,000	
01 繰越金	1,000			1,000	01 繰越金

(単位:円)

額					
	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
金額					
	2,930,000,000	2,930,000,000		0	
	2,930,000,000	2,930,000,000		0	
	2,930,000,000	2,930,000,000		0	
3,455,000,000	2,930,000,000	2,930,000,000		0	岸和田市分担金 1,904,031,200 貝塚市分担金 1,025,968,800
	261,333,600	261,333,600		0	
	1,741,220	1,741,220		0	
	1,741,220	1,741,220		0	
372,000	429,700	429,700		0	電柱埋設地等使用料 429,700
1,375,000	1,311,520	1,311,520		0	附属洗車場使用料 1,311,520
	259,592,380	259,592,380		0	
	259,592,380	259,592,380		0	
254,603,000	259,592,380	259,592,380		0	廃棄物処分手数料 259,592,380
	30,699,940	30,699,940		0	
	30,699,940	30,699,940		0	
	30,699,940	30,699,940		0	
1,000	30,699,940	30,699,940		0	前年度繰越金 30,699,940

款項目	予 算			計	現
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額		節
					区 分
04 諸収入	284,776,000			284,776,000	
01 雑入	284,776,000			284,776,000	
01 雑入	284,776,000			284,776,000	
					01 雑入
05 組合債	258,500,000			258,500,000	
01 組合債	258,500,000			258,500,000	
01 清掃施設整備事業債	258,500,000			258,500,000	
					01 清掃施設整備事業債
					02 清掃施設事業債
06 財産収入	200,000			200,000	
01 財産売払収入	200,000			200,000	
01 物品売払収入	200,000			200,000	
					01 物品売払収入
歳 入 合 計	4,254,827,000	0		4,254,827,000	

額					
金額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	備考
	427,150,546	427,150,546		0	
	427,150,546	427,150,546		0	
	427,150,546	427,150,546		0	
284,776,000	427,150,546	427,150,546		0	金属類等売払収入 58,712,097 ペットボトル売払収入 12,607,185 電力売払収入 354,846,151 その他雑収入 985,113
	194,600,000	194,600,000		0	
	194,600,000	194,600,000		0	
	194,600,000	194,600,000		0	
252,100,000	190,100,000	190,100,000		0	大阪湾圏域広域処理場 整備委託事業債 2,700,000 ごみ処理施設増設 事業債 187,400,000
6,400,000	4,500,000	4,500,000		0	ごみ収集車等購入事業 債 4,500,000
	606,000	606,000		0	
	606,000	606,000		0	
	606,000	606,000		0	
200,000	606,000	606,000		0	不用品売払収入 606,000
4,254,827,000	3,844,390,086	3,844,390,086		0	3,844,390,086

歳出

款項目	予 算 現 額						節 額
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越 事業費繰越財源 充当額	予備費 支出及び 流用増減	計	事業別区分	
							区 分
01 議会費	4,089,000				4,089,000		
01 議会費	4,089,000				4,089,000		
01 議会費	4,089,000				4,089,000		
						議員報酬	
						01 報酬	
						03 職員手当等	
						組合議会 運営事業	
						09 旅費	
						10 交際費	
						11 需用費	
						12 役務費	
						14 使用料及び 賃借料	
						18 備品購入費	
02 総務費	2,192,964,000				2,192,964,000		
01 総務費	215,651,000				215,651,000		
01 一般管理費	210,163,000				210,163,000		
						職員給与費	
						01 報酬	
						02 給料	
						03 職員手当等	

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考
		継続費 繰越	繰越 明許費	事故 繰越		
	2,674,223				1,414,777	
	2,674,223				1,414,777	
	2,674,223				1,414,777	
2,597,000	2,330,230				266,770	
1,859,000	1,813,000				46,000	議員報酬 1,813,000
738,000	517,230				220,770	議員期末手当 517,230
1,492,000	343,993				1,148,007	
1,059,000	49,400				1,009,600	費用弁償 39,000 普通旅費 10,400
49,408	5,850				43,558	交際費 5,850
140,000	75,751				64,249	食糧費 3,553 印刷製本費 72,198
112,592	86,992				25,600	通信運搬費 592 筆耕翻訳料 86,400
126,000	126,000				0	使用料及び賃借料 126,000
5,000	0				5,000	
	1,755,730,887				437,233,113	
	192,263,386				23,387,614	
	188,414,751				21,748,249	
193,479,000	175,165,634				18,313,366	
325,000	287,000				38,000	特別職報酬 287,000
88,330,000	80,078,895				8,251,105	一般職給 80,078,895
72,086,000	64,968,180				7,117,820	扶養手当 3,570,000 管理職手当 4,211,940 地域手当 5,271,633 住居手当 1,506,000 嘱託手当 9,799,200 超過勤務手当 1,858,502 特殊勤務手当 163,020 通勤手当 3,432,460 期末勤勉手当 34,145,425

款項目	予 算 現 額						事業別区分	節 区 分
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 費 及 び 繰 越 事 業 費 繰 越 財 源 充 当 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計			
							13 委託料	
							19 負担金補助及び交付金	
						清掃組合管理 事務事業		
							07 賃金	
							08 報償費	
							09 旅費	
							10 交際費	
							11 需用費	
							12 役務費	
							13 委託料	
							14 使用料及び賃借料	
							18 備品購入費	
							19 負担金補助及び交付金	
02 総務管理費	5,189,000				5,189,000			
						リサイクル啓発 事務事業		
							07 賃金	
							08 報償費	

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考
		継続費 繰越	繰越 明許費	事故 繰越		
						児童手当 1,010,000
32,594,000	29,687,559				2,906,441	健康保険組合等負担金 655,815 職員共済組合負担金 28,509,233 公務災害補償負担金 522,511
120,000	120,000				0	その他の委託料 120,000
24,000	24,000				0	負担金 24,000
16,684,000	13,249,117				3,434,883	
1,244,000	1,082,540				161,460	臨時雇 1,082,540
54,000	6,830				47,170	報償費 6,830
1,078,000	378,440				699,560	費用弁償 2,600 普通旅費 375,840
50,000	5,227				44,773	交際費 5,227
2,978,000	2,157,787				820,213	消耗品費 1,249,155 燃料費 274,268 食糧費 2,203 印刷製本費 395,856 光熱水費 143,469 修繕費 90,072 医薬材料費 2,764
5,175,000	4,997,513				177,487	通信運搬費 772,510 手数料 522,990 保険料 3,676,093 筆耕翻訳料 25,920
2,473,000	1,854,238				618,762	その他の委託料 1,854,238
1,861,000	1,516,947				344,053	その他の 使用料及び賃借料 1,516,947
750,000	399,880				350,120	庁用器具費 395,280 図書購入費 4,600
1,021,000	849,715				171,285	負担金 549,715 補助金 300,000
	3,601,515				1,587,485	
5,189,000	3,601,515				1,587,485	
1,244,000	1,091,195				152,805	臨時雇 1,091,195
60,000	0				60,000	

款項目	予 算 現 額						節 区 分
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越 事業費繰越財源 充当額	予備費 支出及び 流用増減	計	事業別区分	
							11 需用費
							13 委託料
							14 使用料及び 賃借料
							16 原材料費
							18 備品購入費
							19 負担金補助 及び交付金
03 公平委員会費	63,000				63,000		
						委員報酬	
							01 報酬
04 監査委員費	236,000				236,000		
						委員報酬	
							01 報酬
						監査事務事業	
							11 需用費
02 施設費	1,977,313,000				1,977,313,000		
01 施設管理費	1,977,313,000				1,977,313,000		
						施設管理 運営事業	
							08 報償費
							09 旅費
							11 需用費
							12 役務費
							13 委託料
							16 原材料費

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考
		継続費 通繰越	繰越 明許費	事故 繰越		
427,000	339,384				87,616	消耗品費 281,928 印刷製本費 57,456
2,722,000	1,528,660				1,193,340	その他の委託料 1,528,660
616,000	615,600				400	その他の 使用料及び賃借料 615,600
33,324	0				33,324	
26,676	26,676				0	庁用器具費 25,596 図書購入費 1,080
60,000	0				60,000	
	63,000				0	
63,000	63,000				0	
63,000	63,000				0	委員報酬 63,000
	184,120				51,880	
146,000	142,000				4,000	
146,000	142,000				4,000	委員報酬 142,000
90,000	42,120				47,880	
90,000	42,120				47,880	印刷製本費 42,120
	1,563,467,501				413,845,499	
	1,563,467,501				413,845,499	
1,092,730,000	928,063,041				164,666,959	
72,000	0				72,000	
20,000	0				20,000	
253,283,772	169,821,713				83,462,059	消耗品費 95,642,631 燃料費 5,477,004 印刷製本費 2,041,200 光熱水費 66,660,878
816,228	778,228				38,000	手数料 778,228
832,042,000	752,755,308				79,286,692	その他の委託料 25,174,800 施設維持業務 委託料 727,580,508
1,000,000	347,212				652,788	原材料費 347,212

款項目	予 算					現 額	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継続費及び繰越 事業費繰越財源 充 当 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	事業別区分	節
							区 分
							18 備品購入費
							19 負担金補助 及び交付金
							27 公課費
						大阪湾圏域広域 処理場整備事業	13 委託料
						クリーンセンター 維持補修事業	11 需用費
							15 工事請負費
							16 原材料費
						ごみ収集車等購 入事業	12 役務費
							18 備品購入費
							27 公課費
03 公債費	2,054,774,000				2,054,774,000		
01 公債費	2,054,774,000				2,054,774,000		
01 元金	1,959,557,000				1,959,557,000		
						長期債元金償還 事業	23 償還金利子 及び割引料
02 利子	95,217,000				95,217,000		
						長期債利子償還 事業	23 償還金利子 及び割引料
04 予備費	3,000,000				3,000,000		
01 予備費	3,000,000				3,000,000		
01 予備費	3,000,000				3,000,000		
						予備費	29 予備費
歳 出 合 計	4,254,827,000				4,254,827,000		

金額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	備考
		継続費 繰越	繰越 明許費	事故 繰越		
5,151,000	4,061,780				1,089,220	庁用器具費 101,061 機械器具費 3,960,719
3,000	0				3,000	
342,000	298,800				43,200	公課費 298,800
3,173,000	3,099,000				74,000	
3,173,000	3,099,000				74,000	その他の委託料 3,099,000
872,674,000	626,199,610				246,474,390	
76,741,000	44,885,530				31,855,470	消耗品費 498,960 修繕料 44,386,570
641,808,000	427,678,080				214,129,920	工事費 427,678,080
154,125,000	153,636,000				489,000	原材料費 153,636,000
8,736,000	6,105,850				2,630,150	
152,000	40,350				111,650	手数料 9,120 保険料 31,230
8,564,000	6,048,000				2,516,000	機械器具費 6,048,000
20,000	17,500				2,500	公課費 17,500
	2,052,336,919				2,437,081	
	2,052,336,919				2,437,081	
	1,959,556,197				803	
1,959,557,000	1,959,556,197				803	
1,959,557,000	1,959,556,197				803	償還金 1,959,556,197
	92,780,722				2,436,278	
95,217,000	92,780,722				2,436,278	
95,217,000	92,780,722				2,436,278	利子及び割引料 92,780,722
	0				3,000,000	
	0				3,000,000	
	0				3,000,000	
3,000,000	0				3,000,000	
3,000,000	0				3,000,000	
4,254,827,000	3,810,742,029				444,084,971	3,810,742,029

財 産 に 関 す る 調 書

1. 公用財産

(1) 土地及び建物

区 分	土 地(地 積)			建 造		
	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	
	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	
行 政 財 産	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	89,999.00		89,999.00		
	旧 清 掃 工 場	10,834.66		10,834.66		
	小湊川側進入道路	935.38		935.38		
	久保側進入道路	1,277.05		1,277.05		
	埋 立 用 地	39,291.00		39,291.00		
合 計	142,337.09		142,337.09			

物

(延面積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
m ²	m ² 53,799.98	m ²	m ² 53,799.98	m ² 53,799.98	m ²	m ² 53,799.98
	64.00		64.00	64.00		64.00
	53,863.98		53,863.98	53,863.98		53,863.98

2.重要物品調書

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机 ・ 卓 子 類	6 台	0 台	6 台
い す 類	3	0	3
箱 類	1	0	1
事務用機械器具類	10	2	12
計 器 類	35	0	35
機 械 類	1,554	6	1,560
工 具 類	22	0	22
車 両 類	12	0	12
標 本 模 型 類	10	0	10
雑 具 類	15	0	15
合 計	1,668	8	1,676

平成 29 年 度

岸和田市貝塚市清掃施設組合
決 算 審 査 意 見 書

岸和田市貝塚市清掃施設組合監査委員

岸貝清組監査第 5 号
平成 30 年 9 月 27 日

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者 藤原 龍男 様

岸和田市貝塚市清掃施設組合
監査委員 平田 徹
同 谷口 美保子

平成 29 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計
歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 233 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 29 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計の歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、その結果についての意見を次のとおり提出します。

目 次

第1	審査の対象	-----	1
第2	審査の期間	-----	1
第3	審査の方法	-----	1
第4	審査の結果	-----	1
第5	総括意見	-----	1
第6	審査の概況	-----	3
1	一般会計	-----	3
	(1)決算状況	-----	3
	(2)歳入	-----	4
	(3)歳出	-----	8
2	財産	-----	12
	(1)公有財産	-----	12
	(2)重要物品	-----	13

注記

- 千円単位で表示した金額は、百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 比率(%)は、小数点第2位を四捨五入した。そのため小計又は合計が内訳と一致しない場合がある。
- 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」----- 該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「－」----- 該当数値がないもの
 - 「△」----- マイナスのもの

平成 29 年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成 29 年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

平成 30 年 7 月 26 日から平成 30 年 9 月 27 日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、一般会計歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、また、これらの書類の計数は関係諸帳簿、証書類と一致しているかを照査したほか、必要に応じ関係職員の説明を聴取して審査した。

第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿と符合し、その計数は正確であり、予算の執行についてもおおむね適正に運用されているものと認められた。

なお、一般会計の概要及び意見については、以下に述べるとおりである。

第5 総括意見

平成 29 年度の一般会計決算額は、歳入 3,844,390,086 円(対前年度比 7.9%減)、歳出 3,810,742,029 円(同 8.1%減)で、歳入歳出差引額の形式収支及び実質収支は 33,648,057 円となっている。

歳入の増減をみると、前年度に比べ使用料及び手数料で 8,953 千円(3.5%)、財産売払収入で 457 千円(306.6%)増加し、分担金で 231,000 千円(7.3%)、繰越金で 27,711 千円(47.4%)、諸収入で 21,162 千円(4.7%)、組合債で 60,800 千円(23.8%)減少している。

歳出においては、主に公債費で 329,246 千円(13.8%)の減少となっている。

このように決算規模については、前年度に比べ減少となっているが、これは主に起債の償還額の減少によるものである。

性質別歳出決算状況については、その他経費で 68,038 千円(5.3%)増加し、義務的経費で 325,783 千円(12.7%)、投資的経費で 76,466 千円(26.0%)減少している。この結果、歳出に占める割合は、義務的経費 58.5%、投資的経費 5.7%、その他経費 35.8%となっている。

当年度は、岸和田市貝塚市クリーンセンターが本格的に稼働を開始してから 11 年目にあたるが、決算においては、クリーンセンター建設にかかる起債の償還額がピーク(平成 23 年度)を過ぎたものの、依然として 20 億円を超えており、歳出全体の半分以上を占める高い状態にある。この起債償還額は当年度から毎年度 3 ～ 4 億円漸減していく見込みであるが、施設の経年に伴いごみ焼却炉を中心として部材等の消耗・劣化が進んでいくことは必然であり、経費の増嵩は避けられない状況にあると考えられる。

歳入の中で自主財源についてみると、使用料及び手数料において前年度比 8,953 千円(3.5%)増加している。これは廃棄物処分手数料の増加によるものである。また、諸収入でも、ペットボトル売払金において前年度比 6,006 千円(91.0%)、金属類等売払収入において前年度比 16,756 千円(39.9%)増加している一方、電力売払収入において前年度比 43,787 千円(11.0%)減少している。このように社会経済情勢の変化にも大きく左右されるが、今後も安定した財源の確保に努められたい。

一方、歳出についてみると、工事請負費において前年度比 23,138 千円(5.1%)減少している。これは車両ナンバー読取装置設置工事 9,666 千円、電話交換設備更新工事 9,882 千円の減によるものである。原材料費においては、前年度比 18,264 千円(10.6%)減少している。これはごみクレーン用バケット 14,040 千円の減によるものである。今後は、経年劣化による損耗や施設の長寿命化のための運営維持経費が、とりわけ基幹的整備改良の莫大な費用が、確実に増加していくと考えられる。

したがって、構成両市の厳しい財政状況も鑑みながら、公債費による歳出の平準化を図るなど、その費用抑制に向けた取組みに一層尽力されるとともに、廃棄物処理手数料の見直しをはじめ自主財源の堅実な確保に引き続き鋭意努力されたい。

さらに、現クリーンセンターの安定運営を堅持しつつ、「最少の経費で最大の効果」の実現に向け、今後も効率的な事業運営に努めるとともに、各方面に関わる課題については引き続き構成両市と積極的な協議を進めながら、廃棄物処理事業の安心・安全かつ円滑な遂行に十分配慮され、市民生活の快適な環境保持に寄与されるよう切に望むものである。

第6 審査の概況

1 一般会計

(1) 決算状況

歳入歳出予算現額	4,254,827,000 円
歳入決算額	3,844,390,086 円
歳出決算額	3,810,742,029 円
歳入歳出差引残額	33,648,057 円

当年度の決算状況は、予算現額 4,254,827 千円に対し、歳入 3,844,390 千円(対前年度比 7.9%減)、歳出 3,810,742 千円(同 8.1%減)で、歳入歳出差引額の形式収支及び実質収支は 33,648 千円で、単年度収支は 2,948 千円となっている。

過去5年間における決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

区分 年度	決 算 額		形式収支	翌年度へ繰越 すべき財源(D)	実質収支 (C) - (D)	単年度収支 (当該年度実質収支 - 前年度実質収支)
	歳入 (A)	歳出 (B)	(A) - (B) = (C)			
29	3,844,390,086	3,810,742,029	33,648,057	0	33,648,057	2,948,117
28	4,175,653,157	4,144,953,217	30,699,940	0	30,699,940	△27,710,791
27	4,187,674,681	4,129,263,950	58,410,731	0	58,410,731	△153,930,957
26	4,709,899,478	4,497,557,790	212,341,688	0	212,341,688	△376,001
25	4,606,575,606	4,183,857,917	422,717,689	210,000,000	212,717,689	21,862,409

(2) 歳 入

	29 年度	28 年度
予 算 現 額	4,254,827,000 円	4,557,801,000 円
調 定 額	3,844,390,086 円	4,175,653,157 円
収 入 済 額	3,844,390,086 円	4,175,653,157 円
不 納 欠 損 額	—	—
収 入 未 済 額	—	—

当年度の歳入は、予算現額 4,254,827 千円に対し、調定額、収入済額ともに 3,844,390 千円となり、前年度に比べ 331,263 千円(7.9%)減少している。

増加したものは、使用料及び手数料で 8,953 千円(3.5%)、財産売払収入で 457 千円(306.6%)である。

減少したものは、分担金で 231,000 千円(7.3%)、繰越金で 27,711 千円(47.4%)、諸収入で 21,162 千円(4.7%)、組合債で 60,800 千円(23.8%)である。

財源別では、自主財源は 3,649,790 千円(構成比 94.9%)で、前年度に比べ 270,463 千円(6.9%)減少し、依存財源は 194,600 千円(構成比 5.1%)で、前年度に比べ 60,800 千円(23.8%)減少している。

款別歳入決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	29 年 度			収 入 率		構 成 比 率	28 年 度	構 成 比 率
	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 に対する	調 定 額 に対する		収 入 済 額	
分 担 金	3,455,000,000	2,930,000,000	2,930,000,000	84.8	100.0	76.2	3,161,000,000	75.7
使用料及び 手数料	256,350,000	261,333,600	261,333,600	101.9	100.0	6.8	252,380,480	6.1
繰越金	1,000	30,699,940	30,699,940	3,069,994.0	100.0	0.8	58,410,731	1.4
諸収入	284,776,000	427,150,546	427,150,546	150.0	100.0	11.1	448,312,906	10.7
組合債	258,500,000	194,600,000	194,600,000	75.3	100.0	5.1	255,400,000	6.1
財 産 収 入	200,000	606,000	606,000	303.0	100.0	0.0	149,040	0.0
計	4,254,827,000	3,844,390,086	3,844,390,086	90.4	100.0	100.0	4,175,653,157	100.0

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

第1款 分担金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
29	3,455,000,000	2,930,000,000	2,930,000,000	0	0	△525,000,000	100.0
28	3,711,800,000	3,161,000,000	3,161,000,000	0	0	△550,800,000	100.0
増減	△256,800,000	△231,000,000	△231,000,000	0	0	25,800,000	

予算現額3,455,000千円に対し、調定額、収入済額ともに2,930,000千円となり、前年度に比べ231,000千円(7.3%)減少している。

収入済額の内訳は、岸和田市分担金1,904,031千円、貝塚市分担金1,025,969千円であり、予算現額に対し、525,000千円の減額となっているが、これは、常の工事請負費をはじめ運営経費の抑制によるものである。

今後も構成両市の厳しい財政状況に鑑み、歳入歳出両面での努力を重ね、分担金の軽減を図られたい。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
29	256,350,000	261,333,600	261,333,600	0	0	4,983,600	100.0
28	252,284,000	252,380,480	252,380,480	0	0	96,480	100.0
増減	4,066,000	8,953,120	8,953,120	0	0	4,887,120	

予算現額256,350千円に対し、調定額、収入済額ともに261,334千円となり、前年度に比べ8,953千円(3.5%)増加している。

収入済額の内訳は、使用料1,741千円、手数料259,593千円である。

使用料及び手数料については、前年度より8,953千円(3.5%)増加しているが、これは、ごみ搬入量の増に伴い廃棄物処分手数料が増加したことによるものである。

廃棄物処分手数料については、必要経費の増高を踏まえた料金適正化への取り組みをはじめ、事業系一般廃棄物処分手数料の減免制度の見直しを進めるなど、受益者負担の適正化に向けて鋭意努力を重ねられたい。

第3款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
29	1,000	30,699,940	30,699,940	0	0	30,698,940	100.0
28	1,000	58,410,731	58,410,731	0	0	58,409,731	100.0
増減	0	△27,710,791	△27,710,791	0	0	△27,710,791	

予算現額 1 千円に対し、調定額、収入済額ともに 30,700 千円となり、前年度に比べ 27,711 千円 (47.4%) 減少している。

これは、構成両市の財政状況を鑑み年度末の繰越を減額し分担金の精算を行ったことによるものである。

第4款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
29	284,776,000	427,150,546	427,150,546	0	0	142,374,546	100.0
28	318,516,000	448,312,906	448,312,906	0	0	129,796,906	100.0
増減	△33,740,000	△21,162,360	△21,162,360	0	0	12,577,658	

予算現額 284,776 千円に対し、調定額、収入済額ともに 427,151 千円となり、前年度に比べ 21,162 千円 (4.7%) 減少している。

これは、ペットボトル売払収入で 6,006 千円 (91.0%)、金属類等売払収入で 16,756 千円 (39.9%) 増加している一方、電力売払収入で 43,787 千円 (11.0%) 減少したことなどによるものである。

電力売払収入等は貴重な自主財源であり、今後も市場動向を注視しつつ安定的な確保に努められたい。

第5款 組合債

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
29	258,500,000	194,600,000	194,600,000	0	0	△63,900,000	100.0
28	275,000,000	255,400,000	255,400,000	0	0	△19,600,000	100.0
増減	△16,500,000	△60,800,000	△60,800,000	0	0	△44,300,000	

予算現額 258,500 千円に対し、調定額、収入済額ともに、194,600 千円となり、前年度に比べ 60,800 千円(23.8%)減少している。

収入済額の内訳としては、最終処分地施設整備事業債 2,700 千円、ごみ処理施設増設事業債 187,400 千円、ごみ収集車等購入事業債 4,500 千円である。

第6款 財産収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
29	200,000	606,000	606,000	0	0	406,000	100.0
28	200,000	149,040	149,040	0	0	△50,960	100.0
増減	0	456,960	456,960	0	0	456,960	

予算現額 200 千円に対し、調定額、収入済額ともに、606 千円となり、前年度に比べ 457 千円(306.6%)増加している。

これは、公用車の更新に伴い、旧車両を売払ったことによるものである。

(3) 歳 出

	29 年度	28 年度
予 算 現 額	4,254,827,000 円	4,557,801,000 円
支 出 済 額	3,810,742,029 円	4,144,953,217 円
翌年度繰越額	0 円	0 円
不 用 額	444,084,971 円	412,847,783 円

当年度の歳出は、予算現額 4,254,827 千円に対し、支出済額は 3,810,742 千円(執行率 89.6%)となり、前年度に比べ 334,211 千円(8.1%)減少している。

不用額 444,085 千円の内訳は、主に総務費における 437,233 千円である。

支出済額を款別にみると、議会費 2,674 千円(構成比 0.1%)、総務費 1,755,731 千円(同 46.1%)、公債費 2,052,337 千円(同 53.8%)である。前年度に比べ議会費で 11 千円(0.4%)の増加に対し、総務費で 4,977 千円(0.3%)、公債費で 329,246 千円(13.8%)の減少となっている。

節別に前年度と比較してみると、主に委託料 67,598 千円(9.8%)、備品購入費 2,910 千円(38.1%)の増加に対し、需用費 38,468 千円(15.0%)、工事請負費 23,138 千円(5.1%)、原材料費 18,264 千円(10.6%)、償還金利子及び割引料 329,246 千円(13.8%)の減少となっている。

目的別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	29 年 度				28 年度	支出済額 増 減	支出済額 構成比率	
	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度 繰越額	支出済額		29 年度	28 年度
議会費	4,089,000	2,674,223	65.4	—	2,662,738	11,485	0.1	0.1
総務費	2,192,964,000	1,755,730,887	80.1	—	1,760,707,987	△4,977,100	46.1	42.5
公債費	2,054,774,000	2,052,336,919	99.9	—	2,381,582,492	△329,245,573	53.8	57.4
予備費	3,000,000	0	0	—	0	0	0	0
計	4,254,827,000	3,810,742,029	89.6	—	4,144,953,217	△334,211,188	100.0	100.0

性質別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分		29 年 度		28 年 度		増減額	増減率
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
義務的経費	人 件 費	176,691	4.6	172,964	4.2	3,727	2.2
	扶 助 費	1,010	0.0	1,275	0.0	△265	△20.8
	公 債 費	2,052,337	53.9	2,381,582	57.5	△329,245	△13.8
	計	2,230,038	58.5	2,555,821	61.7	△325,783	△12.7
投資的経費	普通建設事業費	218,118	5.7	294,584	7.1	△76,466	△26.0
	災害復旧事業費	—	—	—	—	—	—
	計	218,118	5.7	294,584	7.1	△76,466	△26.0
その他経費	物 件 費	940,477	24.7	901,663	21.7	38,814	4.3
	維持補修費	417,229	11.0	388,620	9.4	28,609	7.4
	補 助 費 等	4,880	0.1	4,265	0.1	615	14.4
	計	1,362,586	35.8	1,294,548	31.2	68,038	5.3
歳出合計		3,810,742	100.0	4,144,953	100.0	△334,211	△8.1

義務的経費は2,230,038千円で、前年度に比べ325,783千円(12.7%)減少している。

これは主に公債費329,245千円(13.8%)減少したためである。

投資的経費は218,118千円で、前年度に比べ76,466千円(26.0%)減少している。

これはクリーンセンター維持補修事業のうち施設の更新に係る事業費が減少したためである。

その他の経費は1,362,586千円で、前年度に比べ68,038千円(5.3%)増加している。

これは主に物件費38,814千円(4.3%)、維持補修費28,609千円(7.4%)増加したことによるものである。

各目的別について決算内容は、以下のとおりである。

第1款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
29	4,089,000	2,674,223	0	1,414,777	65.4
28	4,270,000	2,662,738	0	1,607,262	62.4
増減	△181,000	11,485	0	△192,485	

予算現額4,089千円に対し、支出済額は2,674千円(執行率65.4%)となり、前年度に比べ11千円(0.4%)増加している。

第2款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
29	2,192,964,000	1,755,730,887	0	437,233,113	80.1
28	2,165,763,000	1,760,707,987	0	405,055,013	81.3
増減	27,201,000	△4,977,100	0	32,178,100	

予算現額2,192,964千円に対し、支出済額は1,755,731千円(執行率80.1%)となり、前年度に比べ4,977千円(0.3%)減少している。

これは、主に需用費、工事請負費、原材料費の減少に伴うものである。

支出済額の主なものは、需用費217,247千円(構成比12.4%)、委託料759,357千円(同43.3%)、工事請負費427,678千円(同24.4%)、原材料費153,983千円(同8.8%)である。

不用額437,233千円の主なものは、需用費116,273千円、委託料81,173千円、工事請負費214,130千円である。

第3款 公債費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
29	2,054,774,000	2,052,336,919	0	2,437,081	99.9
28	2,384,768,000	2,381,582,492	0	3,185,508	99.9
増減	△329,994,000	△329,245,573	0	△748,427	

予算現額 2,054,774 千円に対し、支出済額は 2,052,337 千円(執行率 99.9%)となり、前年度に比べ 329,246 千円(13.8%)減少している。

支出済額の内訳は、元金 1,959,556 千円(構成比 95.5%)、利子 92,781 千円(同 4.5%)である。

組合債の前年度末未償還額は 6,698,919 千円で、当年度は 194,600 千円を借入れ、1,959,556 千円を償還した結果、当年度末未償還額は 4,933,963 千円となっている。

第4款 予備費

当初予算額 3,000 千円であるが、充用額はない。

2 財 産

(1) 公有財産

ア 土 地

(単位：㎡)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
29	142,337.09	0	142,337.09
28	142,337.09	0	142,337.09
増減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

イ 建 物

(単位：㎡)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
29	53,863.98	0	53,863.98
28	53,863.98	0	53,863.98
増減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

(2)重要物品

決算年度末の現在高は、次表のとおりである。

(単位：台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机 ・ 卓 子 類	6	0	6
い す 類	3	0	3
箱 類	1	0	1
事務用機械器具類	10	2	12
計 器 類	35	0	35
機 械 類	1,554	6	1,560
工 具 類	22	0	22
車 両 類	12	0	12
標 本 模 型 類	10	0	10
雑 具 類	15	0	15
計	1,668	8	1,676

取得価格 50 万円以上の重要物品の当年度末現在高は 1,676 台である。

平成 30 年度 補正予算書

岸和田市貝塚市清掃施設組合

議案第 6 号

平成 30 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算(第 2 号)

平成 30 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合の一般会計補正予算(第 2 号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出の補正)

第 1 条 歳入歳出予算のうち、「第 1 表歳入歳出予算補正」に掲げるとおり、当該款・項の区分ごとの金額を補正する。

平成 30 年 11 月 8 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者 藤原 龍男

事項別明細書

1 総括
(歳入)

(単位：千円)

款	補正前の予算額	補正予算額	計
01 分担金	3,189,066	1,108	3,190,174
歳入合計	3,923,944	1,108	3,925,052

2 歳 入

(款) 01 分担金 (項) 01 分担金

款 項 目	補正前の額	補正額	比 較
01 分担金	3,189,066	1,108	3,190,174
01 分担金	3,189,066	1,108	3,190,174
01 組合市分担金	3,189,066	1,108	3,190,174

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
01 組合市分担金	3,190,174	岸和田市・貝塚市分担金 3,190,174 (総務課) 平成27年10月1日国勢調査 283,605人 岸和田市 194,911人 (68.73%) 貝塚市 88,694人 (31.27%) $3,190,174 \text{千円} \times 2/10 \times 1/2 = 319,017,400 \text{円 (A)}$ $3,190,174 \text{千円} \times 8/10 \times 68.73/100 = 1,754,085,272 \text{円 (イ)}$ $3,190,174 \text{千円} \times 8/10 \times 31.27/100 = 798,053,928 \text{円 (ロ)}$ 岸和田市分担金 (A+イ) = 2,073,102,672円 (64.984%) 貝塚市分担金 (A+ロ) = 1,117,071,328円 (35.016%)

3 歳 出

(款) 02 総務費 (項) 01 総務費

款 項 目	補正前の額	補正額	計	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
02 総務費	2,190,694	1,108	2,191,802	0	238,200	0	1,953,602
01 総務費	228,066	1,108	229,174	0	0	0	229,174
01 一般管理費	221,847	1,108	222,955	0	0	0	222,955

(単位：千円)

節		説 明	
区 分	金 額	事 業 別 区 分	内 訳
03 職員手当等	75,618	職員給与費等 201,331	03 職員手当等 75,618 超過勤務手当 3,869

